



御田小 研究だより

平成28年9月1日
港区立御田小学校
校長 三浦 和志

第1回研究授業報告

6月27日(月) 4校時 2年1組
(授業者 義積 悦子)
29日(水) 5校時 2年2組
(授業者 堀尾 有里、山中 裕太)

<算数> 単元名「水のかさを はかろう」

<単元でねらっていること>

○体積の測定などの活動を通して、長さの学習を基に単位の意味と測定の原理を理解し、体積の測定ができるようにするとともに、体積についての量の感覚を身に付けられるようにする。

【ユニバーサルデザイン化の視点から】



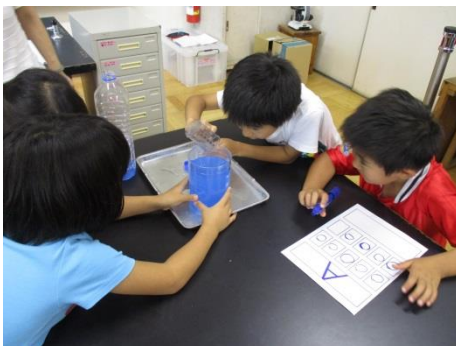
本時のねらいから授業の山場を決め、児童の思考や活動を基に「めあて」を「1Lはどれ?」と設定し本時の流れを考えました。児童は、1Lを意識して主体的に活動していました。(焦点化)



様々な形の容器を準備したことで「1Lを当てたい」という意欲を高めることができました。(視覚化)



操作活動をすることで、 $1L = 10dL$ の関係を理解し、量感をつかむことができました。(視覚化)



ペアで今日学習したことを話す際に、話型を用意したことで、自分の言葉で伝えることができました。(共有化)



<授業を終えて>

容器の大きさや形、水の量を工夫したことで、「1Lはどれ?」なのか意欲的に考えることができました。それぞれの水の体積を測る活動を通して、 $1L = 10dL$ の関係を理解し、1Lはどれぐらいの量なのかを体感していました。今後も、自分の考えをもち、相手に伝えたり比べたりしながら学び合う学習を工夫して、指導していきます。